

# ドライバーレッスンに協力

## 神戸トヨペット 社員教育の一環で

【神戸】神戸トヨペット（竹道雄康理事長）が主催する（西村公秀社長）は、社員教育の一環として、NPO法人「グッドドライバー・レッスン」にサポーターとして協力した。社員らが午



走行前に正しい運転ポジションを学んだ



コース上には普段の運転を想定した内容で構成された

前中はイベントの運営を手伝い、午後からは同レッスンを受講し安全運転への意識を高めた。

同レッスンは昨年に続き2回目の開催で、9月26日にかじやの里メッセみき（三木市）で行われた。運転に必要な身体機能や認知機能のストレッチ、最新のサポカー試乗などを通じ、事故を未然に防ぎ安全で楽しく快適なカーライフをサポートする目的で開催した。

午前中は一般募集で集まった29人が参加。イベントの運営には、社員教育の一環として神戸トヨペットの社員らが携わり、イベントが滞りなく進むよう協力した。

午後からは企業向けの安全運転研修として初めて実施。神戸トヨペットの若手社員だ

けでなく地域の企業にも声をかけ、10〜20代の新入社員ら33人が参加した。実技レッスンでは、普段から使用する社用車や自家用車に乗り込み、正しいシートポジションなどを設定しコースを周回した。コース上には、狙った位置でクルマを止める「ブレーキチャレンジ」や死角や車幅感覚を確認する「路肩寄せエリア」など用意。プロのラリードライバーである奴田原文雄選手や、いとうりな選手らが各車に同乗し、運転時のポイントを解説した。

体験を終えた参加者からは「苦手だった運転も、少し自信がついた」や「横断歩道での歩行者に気を付ける」など安全運転への意識向上につながったようだ。